

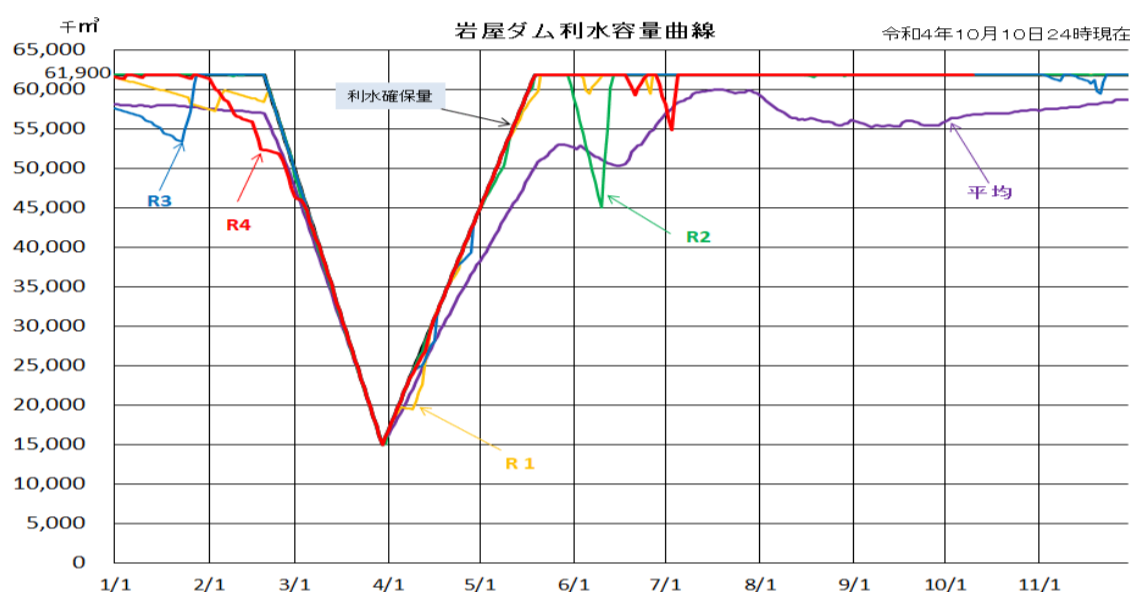
岩屋ダム利水貯水量 6,190万トン（貯水率100%）

農業用水取水量 3,558万トン（取水率 85%）（ともに10月10日現在）

9月上中旬は長雨ですっきりしない日が続きましたが、9月下旬から10月上旬にかけては秋晴れとなり、朝晩は幾分過ごしやすくなりました。利水者の皆様には毎日多忙な日々を送られていることと思います。日中は気温が上がり夜との寒暖差がありますので、体調を崩されないよう十分に留意してお過ごしください。

稲の収穫は地域によって異なりますが、昨年と比べると稲刈りが済んでいない圃場が残っているような気がします。この要因としては、天候不良による日照不足と長雨が関係しているように思われます。今年の台風は非常に強い勢力を保ち上陸した14号を初め、8月には同時期に重なるように発生しましたが、幸いにも管内に直接的な影響はなく被害も少なかったようです。

さて、今年の岩屋ダムの利水貯水状況は、4月から計画通りに貯留が始まり、6月中旬頃には貯水率が一旦低下しましたが、その後は周期的に降雨があったことで満水状態が続き、今年度も安定的に用水を供給することができました。



一方、4月から9月末かんがい期の農業用水取水量は、3,506万トン（取水率84%）で、過去3ヶ年の平均取水量より430万トン程多くなっています。

現時点において過去3ヶ年の平均取水実績から本年度の総取水量を推計すると3,987万トン程となり、農業用水の年間総取水量（4,190万トン）に近い水量まで迫っていますので、利水者の皆様には、今後とも用水施設の適切な管理にこそかけていただきますようお願いいたします。

◇令和4年第4回理事会を開催

10月7日、美濃加茂市総合福祉会館において開催されました第4回理事会では、令和4年度一般会計収支補正予算（第1号）及び賦課金の賦課及び徴収方法について審議がなされ、原案のとおり承認していただき、10月27日に開催予定の第2回の臨時総会に上程することになりました。また、同理事会では、その他に「職員の表彰」及び「令和5年度木曾川右岸用水土地改良区連合配水計画の諮問」についての議案が上程され、出席者全員の賛成により全ての議案が可決されました。



◇小学生が稲刈り体験

10月14日、関市田原小学校5年生の52人が、6月に田植えをした田んぼで稲刈りを行いました。毎年5年生が体験学習に取り組んでおり、教室とは違った様子がうかがえます。



昨年もお世話になった田原営農組合と西田原長寿会の方々が応援に駆けつけて見えました。今年は長雨の影響で日照不足となりましたが、稲の作柄は平年並みとなったようです。子供たちは稲刈りの方法を聞いた後、腰をかがめながら一生懸命に株を刈り取っていました。収穫したもち米は、市内の和菓子屋さんへ協力をいただいて、大福を作ってもらい、全校生徒でいただくとのことです。

◇白川取水施設でフラッシング操作を実施

水資源機構美濃加茂管理所では、カビ臭物質の発生原因となる堆積した土砂を流下させるフラッシング操作を実施しています。白川取水施設の非常用ゲートと調整用ゲートの間に堆積した土砂は、水路外への除去作業が困難であるため、土砂が流れやすいように、人力で調整用ゲートの下流まで移動させ、調整用ゲートの開閉を数回行った（フラッシング）後に、通水量を徐々に増加させて、土砂を押し流すものです。

流失した土砂の多くは途中の神淵沈砂池等に溜まります。

